

選手注意事項

1. 開会式参加について

- (1) 開会式は第2日目の5月30日(土)午前8時45分より行う。
- (2) 出場選手は全員(トラック、フィールドとも最初の2種目を除く)競技場内に新川地区、富山地区、前年度優勝校、高岡地区、砺波地区の順に整列すること。
- (3) 8時30分までに集合完了のこと。
- (4) 雨天の場合は屋内で行うが、その際は各校代表1名を参加させること。
- (5) 前年度優勝校、次勝校及び種目優勝校は、それぞれ旗、楯、杯を持参し参加すること。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2015年度日本陸上競技連盟規則によって運営する。
ただし、不正スタートは、二回目以降の競技者を失格とする(混成競技を除く)。
- (2) 招集場所は第2ゲートに置く。招集完了時刻の5分前に係員により点呼があるので、競技者本人がナンバーカードの確認を受けること。他の種目に出場している場合は代理人を出すこと。
招集完了時刻は、トラック競技は競技開始20分前、跳躍競技は40分前とする(ただし、棒高跳は2時間前、点呼は現地で行う)。投てき競技は、やり投のみ40分前とし、その他は30分前とする。
混成競技は両日とも第1種目は招集場所で招集を行う。2種目からは現地で、トラック競技は競技開始の20分前、フィールド競技は30分前をめどに点呼を行う。
- (3) 競技に出場しない選手・チームはプログラムにつけられている「欠場届」を招集所に提出すること。
- (4) 申し込み後の変更は、理由の如何を問わず認めない。
- (5) 胸背にナンバーをつけない選手の出場は認めない(跳躍種目はいずれかだけでもよい)。
ただし、男子混成1500m、女子混成800m、男子5000m、女子3000mは主催者が準備したナンバーカードをつけること。
- (6) 種目別表彰はその都度行う。8位までの入賞者は、当該競技終了後直ちに表彰者控え席に集合すること(控え席は正面エントランスロビー出入り口とする)。
- (7) 男子5000m競歩は30分、女子5000m競歩は33分を過ぎて次の周回に入らない。
- (8) 計測ラインは次のように予定する。(ただし、状況により変更することがある。)

男子	砲丸投	9 m 0 0	円盤投	2 7 m 0 0	やり投	4 0 m 0 0	ハンマー	3 0 m 0 0
	走幅跳	5 m 8 0	三段跳	1 1 m 0 0				
女子	砲丸投	7 m 0 0	円盤投	2 0 m 0 0	やり投	2 5 m 0 0	走幅跳	4 m 5 0

- (9) 走高跳のバーの高さは次のように予定する。
(男子) 練習 1 m 5 5 競技開始の高さ 1 m 6 0 以降 5 cm 刻み 1 m 8 5 より 3 cm 刻み
(女子) 練習 1 m 2 5 競技開始の高さ 1 m 3 0 以降 5 cm 刻み 1 m 4 5 より 3 cm 刻み

(10) 棒高跳のバーの高さは次のように予定する。

練習 2 m 9 0 3 m 6 0 4 m 0 0

競技開始の高さ 3 m 0 0 以降 20cm 刻み 3 m 6 0 より 10 c m 刻み

練習については 5 月 3 0 日（土）12:00～14:00 の間、メイン競技場で行うことができる。

(11) リレー競技に出場する学校は、招集完了 1 時間前までに**招集所**にオーダーを提出すること。ただし、4×100mR 予選については当日朝（男子 8 時 1 0 分、女子 8 時 3 0 分）、4×400mR 予選は前日の 1 7 : 3 0 までに**本部**へ提出すること。なお、4×400mR 予選は、万一当日の朝にオーダーの変更がある場合は招集完了 1 時間前までに**本部**に提出すること。

3. その他

(1) 第 5 4 回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会（第 6 8 回全国高校陸上競技対校選手権大会北信越予選会）の期日は、6 月 1 9 日（金）～2 1 日（日）の 3 日間である。開会式は 1 8 日（木）1 6 時 3 0 分より。 場所：新潟県 デンカビックスワンスタジアム陸上競技場

(2) 第 5 4 回北信越高校陸上競技対校選手権大会の出場資格を得た者は、表彰終了後必ず総務の山本先生まで連絡の上、個票の記入を行うこと。（各種目 6 位までの入賞者。ただし、走高跳、棒高跳は 6 位までの入賞者 6 名とする。また、男子八種競技、女子七種競技、男女競歩については 4 位までの入賞者とする。）

(3) 大会中のけがは応急処置のみ行うが、その後については各自で対処すること。

(4) 各校補助員は、5 月 2 3 日（土）は 9 時に、5 月 3 0 日（土）～6 月 1 日（月）は 8 時 3 0 分に集合場所（会議室 5 A）に集まり、補助員係主任の指示を受けること。

(5) 人の呼び出しや各校の個別の用件のための「放送施設」の使用は行わない。ただし、重要かつ緊急を要することについてはこの限りではない。

(6) 写真・ビデオなどの撮影については各学校でビブス等の準備をし、着用すること。ただし、必ず撮影許可の受付をすること。

(7) メインスタンド・芝生席、およびフィールド種目進行に影響のある場所での集団応援は禁止とする。

(8) 助力について・・・スタンドからの助言は、競技運営並びに他の競技者の妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴の為に勝手に当該競技エリアから離脱することや文章連絡は認められない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むこともできない。